



『智頭らしい福祉のまちづくり』 を共に考える

第7回（令和4年度第2回）

暮らしを考える会を開催しました



暮らしを考える会とは

『智頭らしい福祉のまちづくり』を推進するために、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんと行政が解決策について共に検討する機会として、平成30年度以降、地区ごとに開催しています。

第7回の概要（6地区で92名参加）

「テーマ」

① 智頭町介護・福祉の「いま」

↳ 介護予防は地域づくり！↳

② ワークシヨップ

↳ 地域のいいところ、再発見!! ↳

③ 智頭町介護・福祉の「これから」

↳ 誰の世話になりますでしょうか？↳

① 智頭町介護・福祉の「いま」

↳ 介護予防は地域づくり! ↳

- ・ 智頭町の高齢化率は、県内市町村でも5番目に高いが、要介護認定率は3番目に低い。介護保険料基準額も、鳥取県平均額より低くなっている。

- ・ 本町は、ミニデイやサロンなどの通いの場が充実。このことで、要介護認定率が低く抑えられていると予想。

- ・ これからの介護予防では、すべての高齢者を対象として、社会参加と、そのための居場所づくりや支え合いの体制づくりを進めることが求められている。

② ワークシヨップ

↳ 地域のいいところ、再発見!! ↳

- ・ 健康とくらしの調査の分析結果から、身体・認知機能、社会性などの項目のうち、地区ごとに、よい点を報告。

- ・ 地域に住んでいるからこそわかる、地域のよい点はこういった要因によるものなのか、「介護予防は地域づくり」の観点も踏まえて分析し、共有。